

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	あかしろきいろ発達支援の一む		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2024年 11月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数) 26名
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2024年 11月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 13名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの特性・状況に応じた支援	「自立できるこどもを育成する」という理念の下、自己肯定感を育みながら、適切な社会性を身につけられるように支援を行っています。WISC等の発達検査の結果を基に、専門的な知見から傾向を把握しつつ、その時々状況に合わせた支援を行っています。また、こどもの状況を鑑みて、小集団、個別など最適な支援を組み合わせて提供できるよう、個別支援計画を立てています。	活動プログラムのより一層の拡充を図り、様々な経験を積めるようにしていきます。 また、中高生クラスの新設等、それぞれの課題にコミットしやすい環境を整備することを検討しています。
2	他機関と連携をした総合的な支援	都型放課後等デイサービス事業所として、保護者からの希望に応じて、利用者の通う学校を初めとした関係機関との連携を行っています。事業所以外での利用者の様子を知ること、より実態に即した支援を提供することが出来ています。また、支援の方針を共有することで、利用者にとって一貫性のある対応を取ることが可能になっています。	より多くのこどもたちにより良い支援を提供していくために、支援者向けの講座を企画しています。連携の輪、支援の輪を広げてくためにも、外に向けた働きかけを行っていきます。
3	保護者へのサポート体制	保護者からご要望があった際や、事業所が必要と判断した際には適宜面談を設定して、助言と支援を行っています。電話やメールでの相談に対しても、可能な限り即時対応するように努めており、必要に応じて他機関と連携しながら対応しています。	既に「母親学級」等の講演会を定期的に開催していますが、今後はこどもの学齢等で対象者を分けながら、課題やニーズに応じた勉強会の開催も検討しています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	小さな事業所の為、人の動きが限定的	運営施設が一施設のための為、異動が起こりません。考え方や見え方が固定化されやすい環境であることは、常に留意していく必要性を感じています。	外部の研修を利用したり、関係機関との連携を積極的に図ったりすることで、外に出ていく意識を持ち、新しい知識を得る動きをしていきます。これにより、支援の幅を広げながら、画一的な考えに陥らないように努めていきます。
2			
3			